

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	412 消防施設等維持事業									
総合計画	めざすまちの姿	3	安全で安心して暮らせるまち			担当部	消防本部				
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える				担当課	消防総務課				
関連予算科目	一般	会計	09	款	消防費	01	項	消防費	02	目	消防施設費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	消防施設管理運営費			細事業名 (事業2)	消防施設等維持事業				
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民					
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-						
事業の目的	①消防団の車両、市内消防施設の維持管理を実施することで、安全な基盤ある町づくりを図る。 ②火災発生時の被害を軽減するため、消防水利の維持管理を行う。										
事業の概要	①消防団車両、消防施設の維持管理を行う。 ②消火栓の維持管理を行う。 ③消火栓格納箱、消防ホース等の設置維持管理を行う。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①老朽化消火栓格納箱等の交換29基 ②新規消火栓格納箱の設置：1基										
課題	消火栓格納箱の腐食・老朽化が進んでいる。										
コスト			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	事業費 (A)	当初予算額	13,617	千円	9,437	千円	8,468	千円			
		決算(見込)額	12,379	千円	8,495	千円		千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	1,260	千円	497	千円	579	千円			
		一般財源	11,119	千円	7,998	千円	7,889	千円			
	人件費 (B)		6,738	千円	8,267	千円	3,336	千円			
	人工(職員数の内訳)		0.89	人	1.11	人	0.45	人			
トータルコスト (A) + (B)		19,117	千円	16,762	千円	11,804	千円				
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	消火栓格納箱設置数	基	目標		36	35	35				
			実績		30	30					
		達成度		83.3%	85.7%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 火災発生時の初期消火等、被害を軽減するために必要である。	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性 (課題に対する改善等)		消防水利の調査を行い、老朽化消火栓格納箱等の交換及び保守点検整備を実施出来るように予算要求を行う。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	414 消防団拠点施設整備事業									
総合計画	めざまちの姿	3	安全で安心して暮らせるまち				担当部	消防本部			
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える				担当課	消防総務課				
関連予算科目	一般	会計	09	款	消防費	01	項	消防費	02	目	消防施設費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	消防施設整備費				細事業名 (事業2)	消防団拠点施設整備事業			
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象	全市民				
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-						
事業の目的	災害時に活動の拠点となる詰所・器具庫を整備すると共に、災害活動を安全・迅速・確実に行えるように車両等の更新整備を行う。										
事業の概要	消防団に配備してあるポンプ、車両等を計画的に更新する。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①チェーンソー：1台										
課題	車両等更新計画どおりに更新できない。										
コスト			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	事業費 (A)	当初予算額	18,049	千円	83	千円	18,596	千円			
		決算(見込)額	17,858	千円	71	千円					
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	6,283	千円	46	千円	15,580	千円			
		一般財源	11,575	千円	25	千円	3,016	千円			
	人件費 (B)		5,775	千円	4,134	千円	4,447	千円			
	人工(職員数の内訳)		0.76	人	0.56	人	0.60	人			
	トータルコスト (A) + (B)		23,633	千円	4,205	千円	23,043	千円			
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	更新計画進捗状況		台	目標	3	2	5				
				実績	2	1					
			達成度	66.7%		50.0%					

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 消防団が災害活動を安全・迅速・確実に行い、火災発生時の被害を軽減するために、消防団に配備してあるポンプ、車両等を計画的に更新する必要があるため。	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性 (課題に対する改善等)		①更新計画に基づき予算要求を行う。 ②県補助金の確保

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	434 火災予防啓発事業費								
総合計画	めざますまの姿	3	安全で安心して暮らせるまち		担当部	消防本部				
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える			担当課	予防課				
関連予算科目	一般 会計	09	款	消防費	01	項	消防費	06	目	常備消防費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	火災予防費		細事業名 (事業2)	火災予防啓発事業費				
実施主体	市	実施方法	市	対象	全市民					
事業期間	開始年度	昭和48年度	終了予定年度	-						
事業の目的	市民の火災予防の意識向上を図る。									
事業の概要	①住宅用火災警報器設置推進 ②防災、防火管理講習会の開催 ③火災予防広報									

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①市内住宅訪問調査、広報活動、モニター広告等啓発活動 ②受講修了者32人 ③市内街頭広報等									
課題	超高齢化社会に伴う、一人暮らし高齢者、高齢者世帯等の増加に伴う、火災からの逃げ遅れ									
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	事業費 (A)	当初予算額	733	千円	734	千円	465 千円			
		決算 (見込) 額	704	千円	719	千円	千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	569	千円	719	千円	465 千円			
		一般財源	135	千円	0	千円	0 千円			
	人件費 (B)		2,979	千円	3,970	千円	2,941 千円			
	人工 (職員数の内訳)		0.40	人	0.55	人	0.40 人			
トータルコスト (A) + (B)		3,683	千円	4,689	千円	3,406 千円				
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
	住宅用火災警報器設置率		%	目標	52	60	66			
				実績	58	65				
達成度				111.5%	108.3%					

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 消防の目的達成のために、火災啓発は必要な事業です。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	全戸調査員の配置・関係機関との連携強化

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	435 通信指令装置・消防救急無線整備事業								
総合計画	めざまちの姿	3	安全で安心して暮らせるまち		担当部	消防本部				
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える			担当課	警防課				
関連予算科目	一般 会計	09	款	消防費	01	項	消防費	06	目	常備消防費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	消防通信費			細事業名 (事業2)	通信指令装置・消防救急無線整備事業			
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託		対象	全市民				
事業期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	-						
事業の目的	119番通報の受付、出動隊の管理、出動指令放送、各種災害情報や気象情報の受信伝達等を常に正常に行えるようにするため、通信指令装置及び消防救急無線装置の維持管理を行う。									
事業の概要	①119番通報等、災害情報の受信 ②災害情報に応じた出動車両の選択や出動指令の放送 ③署所や出動車両に各種災害情報や気象情報等の伝達 ④気象の観測及び気象警報・注意報等の受信 ⑤通信指令装置の維持管理 ⑥消防救急デジタル無線装置の維持管理									

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①消防緊急通報の受付、指令業務、及び災害情報等の受信伝達を行った。 ・119番着信処理件数 2,678件 ・住基データによる指令装置及び地図検索装置のデータ更新 5,100件 ②通信指令装置の維持管理を行った。 ③消防救急デジタル無線の維持管理を行った。 ④アナログ無線廃止に伴う撤去作業を行った。 ⑤梯子車導入に伴う、指令システムの変更を実施した。									
課題	維持管理に経費を要する。（高額化）									
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	事業費 (A)	当初予算額	1,412	千円	27,140	千円	27,702	千円		
		決算 (見込) 額	529	千円	28,169	千円		千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0	千円		
		一般財源	529	千円	28,169	千円	27,702	千円		
	人件費 (B)		35,072	千円	35,756	千円	35,756	千円		
	人工 (職員数の内訳)		4.76	人	4.90	人	4.90	人		
トータルコスト (A) + (B)		35,601	千円	63,925	千円	63,458	千円			
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
	正常に機能した日数	日	目標		366	365	365			
			実績		366	365				
達成度				100.0%	100.0%					

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	各装置が常時正常稼働するよう維持管理し、また装置の取扱い、災害に対する出動管理を適正に行った。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	装置や機器について細部にわたって管理し、障害に対して迅速・的確な対応を行い正常稼働を常時継続することで、経費に対する効果を上げる。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	439 消防車両整備事業								
総合計画	めざますまの姿	3	安全で安心して暮らせるまち		担当部	消防本部				
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える			担当課	警防課				
関連予算科目	一般 会計	09	款	消防費	01	項	消防費	06	目	常備消防費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	警防推進費			細事業名 (事業2)	消防車両整備事業			
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	その他				
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-					
事業の目的	火災・地震等の災害に対し、市民が安心して生活できる災害防止対策として、最新の資機材を装備した消防車両を配備し、消防力の充実強化を図る。									
事業の概要	消防車両は、走行距離・経過年数・使用頻度・老朽化の程度等を配慮した更新計画に基づき整備し、安全走行と計画的な出動体制を確保する。									

2. 事業の実績(Do)

事業実績	①最新の資機材を装備した梯子車を配備し、消防力の充実強化を図った。 ②平成29年度導入する高規格救急自動車の仕様を検討した。									
課題	①車両導入に伴う研修や訓練の必要性 ②財政難による車両更新が計画どおりに行かず、老朽化が進んでいる。									
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成27年度		平成28年度		平成29年度			
		千円	千円		152,170 千円		37,926 千円			
	決算(見込)額	千円		151,239 千円		千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円		136,624 千円		33,900 千円			
		一般財源	千円		14,615 千円		4,026 千円			
	人件費(B)	千円		35,756 千円		35,756 千円				
	人工(職員数の内訳)	人		4.90 人		4.90 人				
トータルコスト(A)+(B)	千円		186,995 千円		73,682 千円					
活動指標	内容		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	納入台数 平成28年度 はしご車 1台 平成29年度 高規格救急自動車 1台	台	目標		1	1				
			実績		1					
達成度			100.0%							

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 計画通りに事業が進捗した。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	車両更新計画を見直し、それに基づいて配備していく。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要(Plan)

事業名	445 救急指導者育成事業									
総合計画	めざまちの姿	3	安全で安心して暮らせるまち		担当部	消防本部				
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える			担当課	警防課				
関連予算科目	一般 会計	09	款	消防費	01	項	消防費	06	目	常備消防費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	警防推進費		細事業名 (事業2)	救急指導者育成事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	全市民		市内事業所、消防団員		
事業期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	-						
事業の目的	①消防団員等を応急手当指導員に育成したり、事業所等の職員を応急手当普及員に育成することにより、市民等への救急処置の普及を強化する。 ②市民等への救急車の適正利用及び応急処置の普及啓発を図る。									
事業の概要	①応急手当普及啓発活動 ②救急の日の広報活動 ③救急車同乗者研修 ④応急手当指導員の養成 ⑤応急手当普及員の養成									

2. 事業の実績(Do)

事業実績	①応急手当教室55回、普通救命講習Ⅰ34回、普通救命講習Ⅱ3回、普通救命講習Ⅲ3回、上級救命講習1回、救命入門コース6回 合計102回(3,667人)受講 ②市内スーパー等4店舗広報 ③湖西病院看護師(1名)、浜名病院看護師(1名) ④応急手当指導員講習 1回(2名) ⑤応急手当普及員講習 1回(22名)									
課題	①事業所により、応急手当普及員講習への参加状況に差がでている。 ②資格期限の失効を迎える普及員が発生している。									
コスト			平成27年度		平成28年度		平成29年度			
	事業費(A)	当初予算額	877	千円	670	千円	653 千円			
		決算(見込)額	858	千円	667	千円	千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	249	千円	190	千円	154 千円			
		一般財源	609	千円	477	千円	499 千円			
	人件費 (B)		5,180	千円	11,025	千円	11,025 千円			
	人工(職員数の内訳)		0.70	人	1.51	人	1.51 人			
トータルコスト(A)+(B)		6,038	千円	11,692	千円	11,678 千円				
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
	平成28年度まで 応急手当普及員講習受講者数		人	目標	20	20	3,500			
	平成29年度以降 各種講習等受講者数			実績	23	24				
		達成度			115.0%	120.0%				

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 計画通り事業が進捗した。	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	事業所へ出向き、応急手当普及啓発を行うとともに、普及員講習の受講を促す。

平成29年度 ★実施計画 個別評価シート（28年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	448	公用車維持管理費								
総合計画	めざまちの姿	3	安全で安心して暮らせるまち			担当部	消防本部				
	基本計画【施策】	3-④消防・救急体制を整える				担当課	消防署				
関連予算科目	一般	会計	09	款	消防費	01	項	消防費	06	目	常備消防費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	消防活動費			細事業名 (事業2)	公用車維持管理費				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営			対象	全市民				
事業期間	開始年度	昭和48年度	終了予定年度	-							
事業の目的	緊急車両等を適正に維持管理することにより、常に消防力の充実を図る。										
事業の概要	①消防車両（一般車両含む）の燃料費、法定点検代等 ②消防車両の特殊装備の維持管理 ③故障・損傷に伴う修繕										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	①車両27台の車両維持（燃料費、車検・点検費用、修理代） ②公用車 故障損傷 39件分の修繕費 他										
課題	使用年数が長い車両の故障頻度が多い。										
コスト			平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	事業費 (A)	当初予算額	7,565	千円	8,035	千円	7,918	千円			
		決算 (見込) 額	7,127	千円	7,476	千円		千円			
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0	千円	0	千円	0	千円			
		一般財源	7,127	千円	7,476	千円	7,918	千円			
	人件費 (B)		17,404	千円	17,976	千円	15,636	千円			
	人工 (職員数の内訳)		2.31	人	2.41	人	2.10	人			
トータルコスト (A) + (B)		24,531	千円	25,452	千円	23,554	千円				
活動指標	内容		単位		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	車検実施台数	台	目標		11	13	10				
			実績		11	13					
達成度				100.0%	100.0%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》	
	車両更新が大幅に遅れているため、修繕費用が増加しているが、法令に基づく整備は実施できている。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	タイヤ・バッテリー等の消耗品の交換時期をあえて年度末まで引き伸ばし、次回の更新時期を遅らせる (更新回数を減らす) こととした。